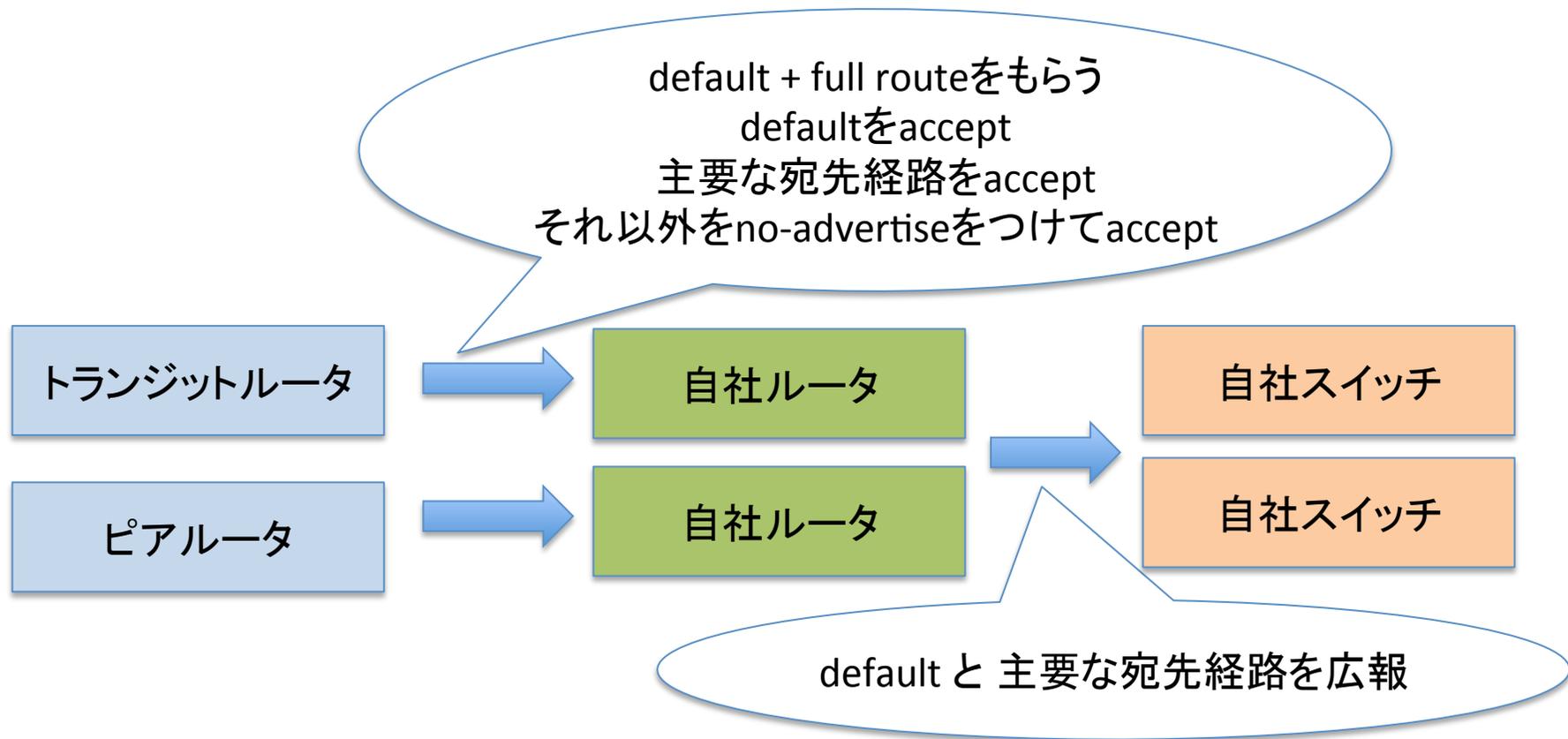


サマリー

- うちもフルルートやめました(ぱくり)
 - JANOG34の黒河内さんのプログラム参照
 - 「TransitFilter方式」でトランジット事業者にdefault + 一部ASがoriginの経路を広報してもらっている
- 「自社内Filter方式」をbgp community no-advertiseで実装するのも幸せかも？という構想
 - ASBRではフルルート見える！
 - eBGPは終端しなければ汎用ASIC規模の機器でもibgpネイバーになれる
- 構想なので飲み会等で意見交換したいです

自社内Filter方式をno-advでやったイメージ



default経路のbackupを自分のASの全L3機器が持てるように設計すれば安定と自由度が取れるんじゃないか。

なんでわざわざ「自社内Filter方式」？

- netflowのorigin asがトランジットASになる
 - 思わぬASのトラフィック量変化に気がつかない
 - (コレクタ等でorigin AS情報付け直す機能もある)
- トランジット事業者様へフィルタ更新のお願い
 - このprefixほしい！と思ったときの依頼が手間
 - 全員が実装してくれるとは限らない
- ルートサーバ入りづらい、ピアしづらい
 - 網内に経路増やしたくない
 - ピアして経路リジェクトも寂しい
 - 全部じゃないけど流れる

デメリットかもしれないこと

- ASBRは経路数が大きいルータが必要
 - 既存を活用できるなら問題ない
 - FIB更新速度やセキュリティ系新機能(たとえばflowspec)の実装状況をみるとルータの方が良さそう
 - 部分的にでも使えるのでいける機器は持つ選択肢もある
- FIBの更新待ちでbgp update遅くならない？
 - defaultが救ってくれるはず
 - 広報しないものは低優先で反映とかあるんでしょうか？
- 経路溢れは？
 - 時期がきたら見定めてdropする。
- ピアしても全部そこ流れないですよ？
 - あきらめです。流量あればcommunity外します。
 - ピアしているルータのトランジットが切れたら流量0です
 - ピアできないよりまし